

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '青少年相談員運営事業' and '青少年の健全育成'.

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事務事業の内容】 青少年の実態を把握し、青少年に関する各般の問題について相談に応じるとともに、街頭活動(パトロール)を行って非行防止活動を行う。
【担当者が行う業務の内容】 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動 社会環境浄化活動 街頭巡視活動(パトロール) 研修会
【事業費の内訳】 相談員の活動・研修に対し 報酬 3,000円

(1) 事務事業の目的

Table with 4 main rows for ①手段, ②対象, ③意図, ④結果. Each row has sub-rows for specific activities and indicators like '街頭活動回数', '青少年相談員数', etc.

(2) 指標値の推移

Table showing trend of indicator values from 18th to 23rd year. Columns include 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts (expenses) from 18th to 23rd year. Columns include 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量. Rows include 事業費 (国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源, 事業費計(A)), 人件費 (正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

地域における青少年対策推進の中核として活動するため、昭和40年に全市町村に青少年相談員が設置された。その後56年に青少年(5歳から19歳)200名に1名の基準が設けられ現在にいたる。現青少年相談員は21年4月に委嘱した。事業に対しての県補助金が20年度に廃止され、その後は自主財源で事業を行っている。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

「活動がマンネリ化、市民の関心が低い、事業への参加者が少ない」等 意見が寄せられている。

事務事業名	青少年相談員運営事業	事務事業No.	32534059	所属課	文化生涯学習課
-------	------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目		
目的 妥当性	① 政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） 地域全体で青少年を取り巻く環境改善を図っている	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？） 青少年の健全育成に必要である	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性（対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？） 全ての青少年を対象にしている	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） 市民の関心が低い	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） 青少年の健全な育成が図れなくなる	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） 他に手段がある <input type="checkbox"/> ⇨ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 青少年相談員は、市から委嘱を受け活動している。他の青少年育成者の指導的役割を担っている。青少年育成 市民会議、学校警察連絡協議会のメンバーでもあり活動している。	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）） 活動・研修に対しての報酬の支払いをしている。条例で定められている。（21年度に報酬が4,000円から3,000円に） 必要最低限の事業費でこれ以上の削減は活動に支障をきたすことになる	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地（やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？） 活動の関係で時間外になってしまうことがあるが、必要最低限である。	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） 全ての青少年を対象にしている。	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 相談員の活動への参加者が少ない。効果的な活動ができるよう研修の機会を設けていきたい。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(4) 改革・改善による期待成果（廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(3)-1 改革改善策 青少年相談員の行っている活動のPRを行っていく 街頭活動は、今後増やして行く予定である。																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 青少年相談員が地域に認知されていない。 → 活動のPRを行っていく 青少年の情報が入らない → 学校との連絡調整を行い会議等に参加させてもらう																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) B: 継続(改革改善を行う) C: 終了、廃止、休止 D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/> 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項